

●静かな秋の空気に包まれて、身も心もリフレッシュ散歩！

●紅葉狩り 色とりどりの落ち葉を踏みしめる贅沢なひとときを

赤や黄色に染まった森の中、落ち葉を踏みしめながらの散歩が楽しい季節になりました。それぞれの樹木の特徴を知っていると、散歩が一層楽しくなります。葉の形を覚え地図で場所を確認して、秋の公園に探しに行ってみませんか。

- ①ユリノキは、モクレン科ユリノキ属に属する落葉高木、北米原産です。
- ②イロハモミジは、古くから親しまれている紅葉の代表的な種です。
- ③ドウダンツツジは、ツツジ科ドウダンツツジ属の落葉低木、垣根などに活用。
- ④ナンキンハゼは、トウダイグサ科、中国原産の落葉高木です。



① ユリノキ



② イロハモミジ



③ ドウダンツツジ



④ ナンキンハゼ

イチヨウの話

イチヨウは、約 2 億年前から存在する「生きた化石」として知られ、耐久性が高いため街路樹に利用されます。また、実は食用の他、葉は血液循環の改善や抗酸化作用を持つとされ薬用としても使われています。



⑤ イチヨウ



●公園名所案内 「地名碑」公園に落とし込まれた郷土

1975 年に開園後、1989 年に基本計画の見直しが行われ、御所沼の復元等、現在の公園が出来上がりました。その見直しには、古河市出身で景観学の権威であった中村良夫氏が設計・監修をされました。氏は、その著書※の中で、公園の地名碑について次のように言及しています「公園のあちこちの場所に名を与える。石碑に刻まれた言葉によるイマジネーション。空間に意味を与える技術

※抜粋」その石碑（言葉）に、郷土の古い地名や、イマジネーションをそその命名を行いました。その碑の前にたたずむ人を詩的な感興へと誘っています。
※中村良夫著「湿地転生の記 風景学の挑戦」岩波書店



⑥地名碑 「芋ころがし坂」

●11月の花のご紹介 ⑦ツワブキ ⑧チャノキ ⑨キンモクセイ

⑦ツワブキは、キク科の常緑多年草で、大きな光沢のある丸い葉が特徴で、秋から冬にかけて鮮やかな黄色い花を咲かせます。

⑧チャノキは、ツバキ科ツバキ属の常緑低木で、緑茶や紅茶などの材料になります。

⑨キンモクセイは、モクセイ科モクセイ属の常緑小高木です。



⑦ツワブキ



⑧チャノキ



⑨キンモクセイ

11月の鳥【ハシビロガモ】

カモ目カモ科マガモ属に分類される鳥類。冬にやってくる渡り鳥。全長 51 cm (オス)、43 cm (メス) と大きさはよく見かけるカルガモと同じくらいです。漢字で「嘴広鴨」と書き、シャベルのような平べったいくちばしが特徴的です。潜水はせず水面で餌をとるカモです。くちばしを水面につけ、ブクブクさせながら泳ぎます。くちばしの側面に細かいくし状のものがおり、水草や植物プランクトンなどを濾しとるようにして採食しています。とても観察しがいのあるカモなので、ぜひ探してみてくださいね。



★ハシビロガモ (メス)



★ハシビロガモ (オス)

★古河公方公園公式アカウントを開設しました！

是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- ・Instagram @koga_kubou
- ・X (旧 Twitter) @kubou_park

インスタグラムアカウント



X (旧ツイッター) アカウント

